

ミズカマキリとカマキリのちがい

那覇市立銘苅小学校
3年 宮國理也

1. どうき・もくてき

(1) どうき

- ①国語の教科書でミズカマキリを見てめずらしいと思ったから。
- ②他の生き物は水の中とりくの両方にはいないから、ふしぎに思った。
- ③カマキリとミズカマキリのちがいを知りたかったから。

(2) もくてき

- ①カマキリとミズカマキリをつかまえる。
- ②カマキリとミズカマキリをかんさつして違いをしらべる。

(3) よそう

カマキリとミズカマキリは同じしゅるいの生き物で、それぞれ住む場所に合わせて進化した。

2. ほうほう・ないよう

(1) 本でカマキリとミズカマキリのいる場所などをしらべて、つかまえに行く。

- ①本で調べたカマキリとミズカマキリのいる場所
 - ・カマキリのいる場所：草むらなどエサになるバッタなどがいるところ。
 - ・ミズカマキリのいる場所：水たまりや池、田んぼなどエサになる小魚などがいるところ。
- ②つかまえに行った場所やつかまえ方
 - ・カマキリ：那覇市や浦添市の公園。草むらで虫あみを使ってつかまえる。
 - ・ミズカマキリ：本島中部の池や水たまり、本島北部の池や川。池にはえている草のまわりをあみですくう。

(2) 育ててかんさつする。ひょうほんを作る。

- ①つかまえたカマキリやミズカマキリを育ててかんさつする。
 - ・体のとくちょうやエサのちがい、食べ方、動いている様子をおかんさつする。けんびきょうでくわしく見る。写真をとる。
 - ・カマキリ：虫ケースに入れて育てる。エサはバッタなどをつかまえてあげる。
 - ・ミズカマキリ：水そうに入れて育てる。エサはオタマジャクシなどの小さな魚や赤虫をあげる。
- ②カマキリとミズカマキリのひょうほんを作る。
 - ・プラスチックのようきにわたとぼう虫ざいを入れて、死んだカマキリやミズカマキリを入れる。







(3) 本でとくちょうをしらべる。

かんさつでわからなかったとくちょうを本でしらべる。

3. けっか

(1) カマキリのかんさつ

- ①つかまえたカマキリのしゅるい：オオカマキリ
- ②つかまえた場所の様子：とても大きな公園で、みどりが多い。いろいろなしゅるいの木やひぎの高さくらいまでのくさはえている。

	
<p>6月17日にうらそえ大公園でつかまえたオオカマキリの幼虫 (5 cm)</p>	<p>6月29日にだっぴした。だっぴした皮にしょっ角や目、おしりのとげなどがついていた。</p>
	
<p>7月17日エサのバツタを食べているところ。カマを使ってすばやくつかまえる。(7 cm)</p>	<p>7月18日に2回目のだっぴをした。</p>
	
<p>8月27日に3回目のだっぴをした。</p>	<p>11月4日死んでいた。プラスチックようきに入れてひょうほんにした。</p>

③本でしらべたこと

○おきなわにいるカマキリ

オオカマキリ、ハラビロカマキリ、ヒナカマキリ、チョウセンカマキリ

○オスとメスのちがい

おしりにびとつき (おしりから出ている角) があるのがオス、ないのがメス。メスのほうが大きい。

○オオカマキリは1つのたまごから1000びき以上でてくる。だっぴは6回くらいする。

○昼は黄緑色の目だけど、夜は黒い目になる。

(2) ミズカマキリのかんさつ

おきなわ本島には、ミズカマキリが少なくて6月から中部や北部につかまえに行つたけどなかなかつかまえることができなかった。

①つかまえに行った場所と行った回数（石がき市で3びきつかまえた。）

			
ぎのわん市（3回）	ぎのざ村（3回）	くにながみ村（1回）	石がき市（1回）

②つかまえた場所の様子：石がき市のダム近くの池。水がきれいでオタマジャクシがたくさんいた。

③つかまえたミズカマキリのしゅるい：マダラアシミズカマキリ

④そのほかかんさつしたミズカマキリ：ヒメミズカマキリ、本土産のミズカマキリ

	
8月24日石がき市でつかまえたマダラアシミズカマキリおしりでいきをしているところ	8月28日小さなバッタをカマでつかまえて、ストローのような口ですって食べているところ。
	
9月2日おしりとおしりを合わせて交尾しているところ（マダラアシミズカマキリ）	9月5日 マダラアシミズカマキリの赤ちゃんがうまれていた。（その日の夜に死んでいた）
	
ヒメミズカマキリの顔	9月2日 本土産のミズカマキリがグッピーをつかまえて食べているところ。

⑤本でしらべたこと

○おきなわにいるミズカマキリ

ヒメミズカマキリ、マダラアシミズカマキリ

○ミズカマキリはアメンボと同じカメムシのなかま。

○ミズカマキリもだっぴする。

(3) まとめ：かんさつや本でしらべてわかったこと（カマキリとミズカマキリのちがい）

	カマキリ	ミズカマキリ
しゅるい	カマキリ目	カメムシのなかま
住んでいる場所	草むら（りく）	水の中
エサの食べ方	かみくたく	ストローみたいな口ですって食べる
こきゅうの仕方	人間と同じようにこきゅうする	ストローみたいなおしりで空気をすう
同じところ	カマミみたいな前足を持っている	

4. 考さつ

カマキリとミズカマキリは、どちらもカマのような前足があり、エサをつかまえて食べるが、ちがうしゅるいの生き物だということがわかった。住むところだけでなく、エサの食べ方やこきゅうの仕方がちがう。

5. 感想

なかなかつかまえられなかったけど、はじめてミズカマキリをつかまえてかんさつすることができてうれしかった。カマキリとミズカマキリを育てながらかんさつして、ちがいをしらべることができてよかった。次はほかの水生昆虫もしらべてみたい。

5. 研究せいかの発表のきろく 那覇地区小学校科学作品展 銅賞

6. 使った本

湯浅政治（2003）『はっけん！ミズカマキリ』大日本図書

増田辰樹（2001）「水生昆虫のひみつ」あかね書房

三田村敏正 他（2017）『タガメ・ミズムシ・アメンボハンドブック』北野忠監修 文一総合出版

森上信夫（2013）『オオカマキリ』岡島秀治監 あかね書房

小池啓一他（2015）「小学館の図かん 昆虫」小学館